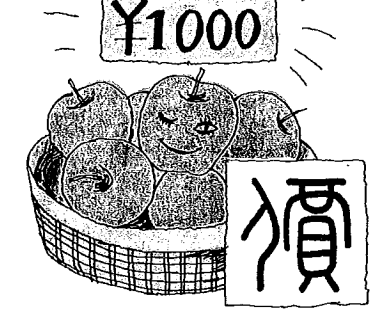
価

【5年】

8画



訓 あたい　音 カ

なりたち 賈の略字。賈は取ったり戻したりする意味の襾と金銭の意味の貝との会意字で、お金を出し入れする〝商人〟を表した字。転じて、〝ねうち（あたい）〟の意味に使われる。

いみとじゅくご
▼あたい。ねうち。
価値…どれくらいのねうちか、またどれくらい役に立つかというその度合い。
価格…物のねうちを金額であらわしたもの。ねだん。
定価…ある品物の、きまったねだん。
時価…その時のねだん。また、今売買すると考えた場合のねだん。
廉価…安いねだん。
評価…どれだけの価値があるかを決めること。特に高いねうちを認めること、の意味に用いられる。
真価…本当のねうち。用例 真価を発揮する。
声価…人や物のねうち・評判。

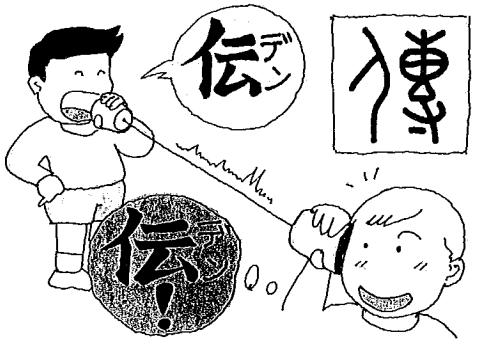
よみかた
安価・原価・高価・市価・単価・特価・売価・物価

伝

【4年】

6画

訓 つたわる・つたえる・つたう　音 デン



なりたち 言うという意味の云と人との会意字。〝人が言いつたえる〟という意味の字。

いみとじゅくご
▼つたえる。つたわる。
伝統…古くからの風俗・習慣・思想など、代々受けつがれて来たもの。
伝言…ことづけ。人にたのんで言葉でつたえること。
遺伝…性質や素質などが親から子へ伝わること。用例 隔世遺伝（祖父母やそれ以上はなれた先祖の性質などが子に現れること。）
▼つたえて広める。
宣伝…商品や主張などを大衆向けに説明し勧めること。
▼言いつたえ。人の一代記。
伝記…ある個人の生涯を書きつづったもの。
伝奇…逸話・奇談の総称。
▼古典を解釈したもの。用例 古事記伝

よみかた
伝授・伝承・伝説・伝染・伝聞・伝来・伝令

仕

【3年】

5画

訓 つかえる　音 シ・ジ

なりたち 人と士との会意形声字。人が士（役人）となって官庁に〝つかえる〟ことを表した字。〝つかえる〟こと。転じて、単に〝する〟という意味に使う。

いみとじゅくご
▼つかえる。官職につく。
仕官…❶役人になること。❷武士が主君につかえること。
出仕…❶民間から出て官職につくこと。❷勤務につくこと。
▼目上の人のために用を行う。
奉仕…❶報酬を度外視して国や社会や人のためにつくすこと。❷商人が安い値段で品物を売ること。例 奉仕品
給仕…飲食の世話や雑用をすること。また、その係の人。
▼何かをする。
仕事…❶働くこと。❷勤め。職業。❸物理で物体の外から力が働くこと。例 仕事量
仕業…だれかがやったこと。用例 これはだれの仕業だ。

よみかた
仕入れ・仕打ち・仕送り・仕掛け・仕方・仕組み・仕度・仕出し・仕様

俊

【9画】

訓 ―　音 シュン

なりたち 夋は頭の大きい人を表した允と夂とで、行き悩む意味。俊は夋と人との会意字で、頭脳の傑出した人の意味。また、越え悩む高い山を峻（しゅん）という。俊は峻と人の会意字と見ることができる。

いみとじゅくご
▼すぐれる。すぐれた人。才知が抜きんでた人。
俊才…すぐれた才能。また、すぐれた才能を持った人。
俊秀…才能がすぐれていること。また、その人。
英俊…多くの人の中で特にすぐれた才能を持った人。
俊敏…頭がよくて、ものごとの判断や行動がすばやいこと。
俊足…❶足の速い良馬。転じて、足の速い人。❷すぐれた門下生。